

## 平成30年度 重点課題（学校アクションプラン）の取組について

今年度の学校アクションプランとして設定した三つの重点課題について、取組の様子をお知らせします。

### アクションプラン1 <安全安心な学校生活の保障>

日々の活動の中で、友だち同士のトラブルやけがを伴う事故、ヒヤリハット事例が少なからず起きています。そのため、指導や体制を充実させて安全安心な学校生活を送ることができるように、見守り体制や環境の整備を行うことや、この取組を維持向上させるための教職員の意識・専門性の向上を図るため、次の取組をしました。

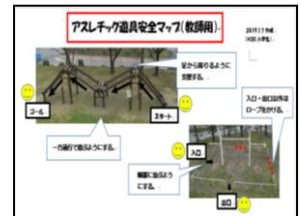
- ・学年ごとにヒヤリハット事例を協議する対策検討会を実施し、反省点や改善策及び未然に防ぐことができた体制等を全教職員に周知しました。
- ・外部専門家による安全安心につながる適切な指導に関する研修会を実施し、助言を受けました。
- ・対策検討会や研修会で示されたツールをデジタル教材化し、全教職員がいつでも見たり活用したりすることができるようにしました。（右に一部掲載）

その結果、教職員のリスクマネジメントや危機管理の意識が向上し、見守り体制や環境整備、連絡体制など未然防止と適切な事後対応のための体制の充実を図ることができました。また、対策検討会で示された危険防止のためのツール7種類をデジタル教材化・共有化したことで教職員が参考にしたり、活用したりし、学校全体で未然防止の意識を継続することができ、ヒヤリハット事例の再発を防ぐことができました。

今後も、教職員のリスクマネジメントや危機管理の意識を維持しヒヤリハット事例の未然防止、再発防止を図るためヒヤリハット事例の対策検討会を随時実施していく必要があると考えています。



下校方法確認ボード



アスレチック安全マップ

### アクションプラン2 <いろいろな場面で挨拶ができる児童生徒の育成>

昨年まで、児童生徒会執行部を中心に、登校時に『あいさつ運動』を行い、「おはようございます。」と自分から挨拶できる児童生徒が多く見られるようになったことから、今年度は、一日の生活の中で用いる挨拶の言葉や場面を紹介したり、挨拶をすることの良さなどを伝えたりすることで、挨拶する場を広げることが目的としました。

- ・6月と11月に児童生徒会役員を中心に、『あいさつ運動』を行いました。登校時に学部玄関までの通路に立ち「おはようございます。」と元気よく挨拶を呼び掛けました。
- ・9月に『あいさつ集会』を行い、挨拶の大切さを伝えたり、いろいろな挨拶の言葉を紹介したりしました。また、集会で伝えた内容をもとに、一日の生活の中で必要な挨拶の言葉をまとめた掲示物を作成し、各学級に配布し、挨拶することの大切さを指導しました。
- ・『あいさつ運動』終了後、全校児童生徒にあいさつ運動や挨拶の取り組みについてアンケートを実施し、振り返りを行いました。

その結果、児童生徒の自己評価や教員の評価では、「挨拶をすると気持ちがよくなった。」「デイサービスや他学部の人にも挨拶ができた。」「挨拶ができる場面が増えた。」など挨拶をする対象者が増えたり、言葉や態度で示そうとする様子が多く見られたりする成果が見られました。また、これまであまり使っていなかった挨拶の言葉に気付いたり、新しい挨拶に挑戦しようとした様子から、挨拶の練習をするよい機会となり、挨拶の言葉を確認することにも有効でした。

今後は、実態に合った取組を行ったり、家庭に学校での様子を伝えたりして、挨拶が日常的に交わされるような取組を継続していくことが必要であると考えています。



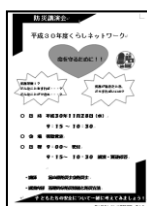
### アクションプラン3 <PTAの事業やPTA連合会等の研修会への参加者の増加を図る>

本校では、保護者同士で顔を合わせる機会が少なく情報交換ができていく状況がみられることから、PTA活動を通して、保護者同士のつながりを広げていきたいと考え、そのためPTA広報誌「洗心」の活用や研修会・PTAの事業への参加者の増加を目指して取り組みました。

- ・事業や各PTA連合会（研修会）の内容について、講演内容等が保護者に分かりやすく興味をもちやすいように工夫した案内ちらしを要項とともに配布しました。
- ・昨年度と今年度の1回目の広報誌の内容について、保護者の皆様が知りたい情報や関心があるものについてアンケートをとり、次回の広報誌に反映させるようにし、PTA活動への興味をもっていただけるようにしました。

各事業や各PTA連合会（研修会）の内容について、講演内容等を詳しく掲載した案内ちらしを配布することにより、保護者の皆様に興味関心をもっていただけ、たくさんの方に参加していただきました。また、PTA広報誌の内容について、保護者の皆様が知りたい情報や関心があるものについて意見を聞き、要望のあった情報を詳しく掲載したり、掲載の仕方を工夫したりしました。アンケートでは、PTA広報誌の内容が良くなったと回答していただいた保護者の方が増えました。

今後は、PTA事業への案内ちらしや事業を知ってもらうための会報の作成・配布は、継続して行うとともに、案内の配布だけでなく、担任等からも保護者の皆様に呼び掛けをして、PTA事業についてのお知らせをしていきたいと思えます。



#### 保護者の皆様からのご意見

- ・ヒヤリハット事例のうち、誰にでも起こるかもしれない事例があれば、今後のためにも知らせてほしい。
- ・身近でない人にも目を合わせて意識して挨拶する姿が見られた。今後も地道な継続が必要だと思う。
- ・会報「洗心」で参加できなかった事業や研修会等の内容がよく分かった。今後も載せてほしい。他にもいろいろな活動があることが分かり、興味をもって読ませていただいた。

#### 学校評議員からの意見

<アクションプラン1について>

ヒヤリハットの検討も大事だが、一方でいろいろな体験をさせて知識を増やすことも重要だ。危険認知が難しい児童生徒には、障害や行動の特性に配慮し、常に目が届くようにする必要がある。また、保護者と情報を共有し、連携を密にしておくことが大切である。

<アクションプラン2について>

地域の中で、進んで元気に挨拶しているのを見た。挨拶が習慣化されているかどうかを児童生徒が自己評価することは大切である。PTA事業の『あいさつ運動』を通じて保護者間でも挨拶の輪が広がればよい。

<アクションプラン3について>

洗心会事業の案内ちらしは見やすかった。来年もあると良い。ちらしだけではなく、保護者同士、教員からの事業参加の呼びかけも大事だ。

#### 学校評価アンケートから

保護者の皆様に学校評価アンケートをお願いしましたところ、約82%の方より回答いただきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。アクションプランに対する回答を含め、ほとんどの項目で良い評価をいただきました。特に、「個別の教育支援計画や個別の指導計画を基に指導・支援がされているか」「お子様への健康面への配慮や対応はされているか」の項目について、高い評価を、また、配布文書やHPからの情報提供については、昨年より良い評価をいただきました。反面、「児童生徒のことに地域や社会の中で理解が進むように努めているか」という質問について評価が比較的に低く、実際に実施している「交流及び交流学习」「居住地校交流」を始め、警察学校や地域との交流、部活動の交流などについて、しっかり発信し、ご理解いただくことの必要性を感じました。今後も様々な機会を通じて情報を発信し保護者の皆様と共有しながら、学校運営を進めていきたいと思えます。